

事業計画書様式

1 様式1

(施設概要、指定管理者概要)

2 様式2

(公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）、本年度の基本的な管理運営方針（ミッション）、運営業務の実施計画・取組、管理運営体制、人員の配置と研修計画（人員体制表、勤務体制表、人員体制の考え方・職能等、職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について）)

3 様式3

(利用者サービスの向上・利用促進策、広報・プロモーションの取組、市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成、地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献、災害時の緊急対応、安全対策・防犯対策、苦情・要望への対応・不法行為対策について、本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮、個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消)

4 様式4

(公園の維持管理の基本方針、公園施設・設備の維持管理、公園施設・設備の修繕計画、樹木・植栽等の管理、巡視・清掃)

5 様式5

(無料事業実施計画一覧（自主事業含む）、有料事業実施計画一覧（自主事業含む）)

6 様式6

(業務の第三者委託一覧)

7 様式7

(収支予算書（指定管理事業のみ）)

8 様式8

(運営目標)

(事業計画書様式1)

1 施設概要

公園名	横浜市こども植物園、横浜市児童遊園地（教養施設を除く。）
所在地	横浜市こども植物園：南区六ツ川3-122 横浜市児童遊園地：保土ヶ谷区狩場町213
公園面積、 公園種別	横浜市こども植物園：25,829 m <sup>2</sup> （植物園） 横浜市児童遊園地：140,842 m <sup>2</sup> のうち指定管理区域約8ha（風致公園）
主な施設	横浜市こども植物園：管理棟、展示研修館、標本館、温室、樹林地、花壇等 横浜市児童遊園地：自由広場、竹林、梅林、花壇、遊具、駐車場等
特徴	<p>【横浜市こども植物園】</p> <p>昭和54年の国際児童年を記念して、(1)植物の収集・展示と緑化思想及び技術の普及啓蒙(2)都市緑化植物園及び自然植物園(3)児童・生徒の教材園の機能を持つ植物園として開園しました。また、博物館類似施設であり、都市緑化植物園でもあります。園内には、花木や果樹、シダ、竹等多様な植物が栽培展示されています。</p> <p>【横浜市児童遊園地】</p> <p>学制50周年事業として、大正11年から本公園整備運動が始まり、これが由来となり整備を実施し公開されました。戦後の接収により英連邦墓地として使用され、隣接地を買収して整備を再開し、昭和55年に再公開されました。広域避難場所に指定されています。</p>
公園開園日	横浜市こども植物園：昭和54年6月23日 横浜市児童遊園地：昭和4年10月

2 指定管理者概要

指定管理者名	公益財団法人 横浜市緑の協会
代表者名	理事長 橋本 健
所在地	横浜市中区日本大通58
指定管理期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）
現指定管理者管理運営開始日	平成22年4月1日

(事業計画書様式2)

1 公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）

横浜市こども植物園、横浜市児童遊園地の特性を活かし、ビジョン「植物の魅力や面白さを五感で感じ、豊かな自然を未来へ繋ぐ」の達成に向けた管理運営に取り組みます。

当公園の管理運営を通じて、安全・安心・快適な公園づくりに取り組み、植物の魅力や面白さを五感で感じる体験を提供し、花や緑への関心を高め、学び、楽しむ心を育みます。また、エコロジカル・ネットワークの拠点として、生物多様性保全の取組により、人と自然との繋がりを再認識して都市部に残された豊かな自然環境を守り、持続可能な未来に貢献します。

2 基本的な管理運営方針（ミッション）

指定管理者に求められる基本的役割を果たし、かつ上記ビジョン実現のため、公園の特性を踏まえた3つのミッション（果たすべき役割）に取り組みます。

- ・ミッション1 植物の魅力発信と好奇心の創出
- ・ミッション2 緑の担い手の育成支援と繋がりを生む拠点の創出
- ・ミッション3 豊かな森と生物多様性の保全に向けた取組の推進

3 運営業務の実施計画・取組

今年度の管理運営方針を実施するための取組

(1) ミッション1 植物の魅力発信と好奇心の創出

植物の不思議や面白さを知る機会、自然を感じる機会を創出し、緑に関心を持ち、学び、楽しむ心を育みます。貴重な植物資源と伝統園芸植物の保存と継承に取り組みます。

(2) ミッション2 緑の担い手の育成支援と繋がりを生む拠点の創出

都市緑化の普及啓発事業を展開し、探求心を高めることで、未来の緑の担い手を育てます。また、多様な主体と連携しながら、人と自然とが繋がる公園を目指します。

(3) ミッション3 豊かな森と生物多様性の保全に向けた取組の推進

安全・安心・快適な公園づくりに取り組むとともに、生き物の生息環境を整備し、土地本来の在来種の出現と生物多様性の保全を推進し、エコロジカル・ネットワークの拠点として未来に繋がります。

4 管理運営体制、人員の配置と研修計画

(1) 管理運営体制

職種	人数(名)	役割
施設長（園長）	1	責任者
副施設長（副園長）	1	副責任者
運営スタッフ（職員）	1	運営管理
運営スタッフ（パート）	1	運営管理
園地スタッフ（職員）	3	施設管理、維持管理

園地スタッフ（パート）	11	施設管理、維持管理
清掃スタッフ（パート）	2	施設清掃
ウェルカムスタッフ（パート）	2	運営管理

(2) 勤務体制

職種	主な業務内容	勤務体制(目安)
園長（施設長）	公園の統括、事業・予算管理	週5日
副園長（副施設長）	統括補佐、植栽・園地・施設の管理など	週5日
運営スタッフ（職員）	事務、経理、広報、自主事業の実施など	週5日
運営スタッフ（パート）		週2～4日
園地スタッフ（職員）	植物栽培・園地管理、緑の相談所業務、展示・講座の企画・運営実施、巡視・点検・清掃など	週5日
園地スタッフ（パート）		週2～4日
清掃スタッフ（パート）	施設清掃など	週2～4日
ウェルカムスタッフ（パート）	ウェルカムセンター業務、窓口対応、自主事業の実施など	週2～4日

勤務体制は6～10名を基本とし、繁忙日は増員するなど、柔軟に対応します。

(3) 人員体制の考え方・職能等

公園全体を統括する施設長（園長）、統括を補佐する副施設長（副園長）を配置します。スタッフは、業務の専門性を高めるため、事務、園地、清掃のほか、ウェルカムセンター運営など、業務別に人員を配置します。また、緑の相談所業務には、専門知識を有するスタッフを配置します。施設長、副施設長は、業務別のスタッフが一体となって公園管理に取り組むようにマネジメントします。

(4) 職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について

「公園管理のプロを育てる」を到達目標に、人材育成に取り組みます。

- ・研修は、①利用者対応・サービス、②園地管理作業、③マネジメント関係をテーマに実施
- ・目標管理制度、職員表彰制度の運用

(事業計画書様式3)

1 利用者サービスの向上・利用促進策

- (1) 植物の魅力発信と好奇心の創出
  - ・植物の面白さや驚きを発見するプログラムやイベント等の実施
  - ・四季折々の花と緑の見どころの発信
  - ・自然を身近に感じる機会の創出
  - ・貴重な植物コレクションの保存と活用
- (2) 緑の担い手の育成支援と繋がりを生む拠点の創出
  - ・都市緑化の普及啓発の推進
  - ・次世代を担う子どもたちへの環境学習の推進
- (3) 豊かな森と生物多様性の保全に向けた取組の推進
  - ・ウェルカムセンターの運営を通じた森に関わる人づくり
- (4) その他
  - ・講座や教室などの Web 申込、二次元コード付きサインの設置などの取組
  - ・アンケート結果を踏まえ満足度向上に向けた施策を検討、実施

2 広報・プロモーションの取組

- ・インターネットメディアを活用した広報や、園内マップなどのHP掲載
- 植物園の各種情報誌の市内学校等への配布、広報よこはま等への情報掲載
- ・植物園等の類似施設との相互広報、SNS等の活用による幅広い世代への情報発信

3 市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成

- (1) 都市緑化の普及啓発の推進
  - ・他植物園等との交流事業の実施や、バラ園の魅力向上への取組
- (2) 地域との繋がりや自然の魅力を伝えるための多様な主体との協働
  - ・地域の団体や市民の皆様などとの協働によるイベントや企画展等の実施
  - ・ボランティアとの協働による維持管理作業等の実施

4 地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献

- (1) 次世代を担う子どもたちへの環境学習の推進
  - ・子どもや親子連れを対象とした各種教室や講座の開催
- (2) 在来種や絶滅危惧種の保護・繁殖
  - ・金沢動物園等と連携し、絶滅危惧植物等の保護・繁殖に取り組み、生物多様性保全を推進
- (3) 地域経済活性化への取組
  - ・地域人材の活用、市内中小企業への優先的発注や官公需適格組合への委託

5 災害時の緊急対応

- (1) 災害に備える予防的対策

- ・災害対応マニュアルの整備・共有
- ・防災訓練（年1回）、情報受伝達訓練の実施（年1回）
- ・広域避難場所として、発災時は避難誘導を実施
- ・防災備蓄品の準備、南区・保土ヶ谷区の防災マップの配布による市民の防災意識を向上
- ・災害時優先電話の配備、市防災メールの登録、緊急地震速報自動放送システムの保守点検による非常時への備え

(2) 風水害の対応

- ・警報発表時は、解除後にハザードマップに基づき巡視、危険個所の封鎖等により安全確保
- ・被害が想定される天候の場合は、事前に園内の安全確認や時間外の対応要員の手配を実施
- ・ゲリラ豪雨などリスクの出現から被害発生までが短時間の場合は、情報収集後、速やかに安全な場所へ避難誘導

(3) 災害発生時の対応

- ・初動対応として災害情報を園内放送などで提供、市と連携し、地域防災拠点へ案内
- ・職員不在時に発災した場合は、災害対応マニュアルに基づき参集対応
- ・災害の規模に応じた特別巡視の実施、宿泊者が生じた際の対応や避難者の心のケアを実施

## 6 安全対策・防犯対策

(1) 安全対策

- ・気象注意報（落雷、光化学スモッグ注意報等）発表時の注意喚起
- ・AEDの設置や救護用品の準備
- ・危険な生物（ハチ、チャドクガなど）の防除
- ・不審物の発見時は警察や市所管へ連絡、犯罪予告があった際は巡視を実施
- ・不具合箇所の早期発見
- ・暑さ対策では、熱中症予防行動の周知、木陰の休憩所の創出、自動販売機の設置、経口補水液の常備などを実施。発症時は涼しい場所へ退避し応急処置、状況に応じて救急車要請

(2) 防犯対策、不法行為対策・利用指導

- ・巡回や点検の徹底による事故・火災防止、警察や消防との情報共有
- ・機械警備、コールセンターの設置、夜間でも警備員・職員が急行できる体制の構築
- ・盗難・器物損壊等への利用指導

(3) 感染症対策

- ・基本的対策の実施、蚊媒介感染症の予防、高病原性鳥インフルエンザへの適切な対応

(4) 公衆衛生

- ・犬の散歩マナー、地域猫の餌やりへの対応などマナー向上の取組を実施

(5) 維持管理作業における安全対策

- ・公園利用に影響が生じる作業は、事前に園内の作業場所周辺やホームページなどで予告
- ・草刈作業は、複数名の作業を基本とし、園路や公道、民家添いは刈高3～5cmを基準に、飛散防止シートなどを用いて小石などが飛散しないよう養生を実施
- ・作業エリアには立ち入りを禁止するため、カラーコーン、作業看板などを設置

- ・作業車両は、通行許可証を前面に掲示のうえ、ハザードランプ点灯、徐行運転を徹底するほか、必要に応じ誘導員を配置し、安全に配慮
- ・墜落制止用器具、ヘルメット、ゴーグルなどの安全装備着用の徹底
- ・KY(危険予知)ミーティングにより、作業者の体調、装備、作業内容の確認及び危険予知活動を徹底し、体調不良者には休養などを措置
- ・作業機器取扱者は、安全衛生教育を受講
- ・炎天下での長時間作業を避け、塩分・水分の補給やこまめな休憩など、熱中症対策を実施
- ・燃料や刃物などの危険物は、関連法令を遵守し、鍵のかかる保管庫で厳重に管理

## 7 苦情・要望への対応・不法行為対策について

- (1) 広報事業実施要綱などに基づく具体的な対応
  - ・本公園ホームページに「ご意見・ご要望・お問合せ」受付ページを設置、窓口や電話、利用者アンケートなど様々な方法で聴取し、改善策などを迅速に検討、実施

## 8 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮

- (1) 「横浜市中期計画 2022～2025」の重点施策等を踏まえた取組
  - ・「GREEN×EXPO 2027」機運醸成のため、市民協働による応援花壇の設置やイベントでの広報を実施
- (2) 「横浜市 SDGs 未来都市計画」を踏まえた取組
  - ・池の環境改善、自生植物の復元など、生物多様性の保全への貢献
  - ・「ゾウ糞堆肥」の活用、草マルチなど、環境負荷の低減に向けた取組
  - ・「みどりの学校」、園内の昆虫や動植物の紹介などによる多様な教育普及
  - ・市民協働による賑わいイベント、ボランティアの活躍機会の創出などを通じた地域活性化
- (3) 「横浜市地球温暖化対策実行計画」の実現に向けた取組
  - ・脱炭素に向けてCO<sub>2</sub>発出量算定ツールを導入し、排出量を見える化
  - ・チェーンソーやブロアーなど、動力機材の電動化
  - ・再エネ100%電力やグリーン電力の導入
- (4) 市内中小企業への優先発注
  - ・本公園での物品購入や工事・委託の発注は、基本的に市内中小企業へ発注

## 9 個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

- (1) 個人情報保護・情報公開
  - ・個人情報保護は、当団体の個人情報保護方針、個人情報保護規程に基づき管理
  - ・情報公開は、情報の公開に関する規程に基づき対応
  - ・個人情報保護研修を実施
- (2) 人権尊重・障害者差別解消
  - ・障害者雇用への取組、健康経営の推進や女性活躍推進の取組
  - ・人権啓発研修を実施

(事業計画書様式4)

1 公園の維持管理の基本方針

- |   |
|---|
| <p>(1) エリアごとの魅力ある花と緑の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・こども植物園では、エリアごとの特徴あふれる見どころを提供</li><li>・児童遊園地では、在来種の保全を主とした花や緑、水景の見どころを創出</li></ul> <p>(2) 生物多様性を意識した維持管理「いきものサンクチュアリ」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童遊園地の谷戸地形を活かした多様性のある自然環境の保全による「いきものサンクチュアリ」への取り組み</li><li>・「横浜市森づくりガイドライン」に沿った管理を行い、利用者が季節の移ろいを感じ自然とふれあえる空間づくりや、生物多様性を意識した維持管理への取り組み</li></ul> |
|---|

2 公園施設・設備の維持管理

- |   |
|---|
| <p>(1) エリアごとの特徴あふれる見どころの提供【こども植物園】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「GREEN×EXPO 2027」応援花壇の設置<br/>宿根草と一年草を混合し、横浜市内産花苗等を植栽。市民ボランティアと協働で花を植え、除草・施肥を行い、花や緑にふれあう機会を創出</li><li>・バラ園（クラシックローズガーデン）<br/>バラの歴史を代表する品種の各々の特性に合わせた剪定、施肥、病虫害防除などを実施。世界バラ会議の殿堂入りバラや横浜開港 150 周年を記念した「はまみらい」の健全な育成。バラを引き立てる地被植物を植栽・管理</li><li>・くだもの園<br/>92 種の柿コレクションなどの果樹や話題植物は、適期の整枝剪定や草マルチにより地温をコントロールし雑草を制御</li><li>・花木園<br/>生活文化や横浜との関わりのある花木、季節ごとに花を咲かせる花木を自然樹形で維持できるよう管理</li><li>・薬草園<br/>薬草や薬用植物・ハーブなど、生活に活用する種々の植物を展示、紹介。小学校の総合学習での見学や観察会を実施</li><li>・生垣園<br/>刈込や病虫害防除などの管理を適切に行い、樹勢の衰えが見られる部分は適宜植え替えを行うことで、常時良好な状態で管理し、緑化植物園として、生垣サンプルを展示</li><li>・野草園<br/>横浜の在来野草の保存展示を行う場所として管理。野草は判別がつきにくいいため、ラベルを提示し、分かりやすく展示。種の保存のため展示種を圃場でも育苗し、ストックを確保</li><li>・シダ園<br/>雑木は伐採しつつ多湿・弱光の現状の環境が維持できるよう管理</li><li>・タケ園</li></ul> |
|---|



間引きにより新しい親竹を確保し、世代交代を促進しつつ育生。春～秋の下草刈と秋～冬の伐竹整理により、観察しやすい展示を維持。67年周期の3世代目のモウソウチクを育成

・アジサイ園

毎年花が楽しめるように適期に剪定し、必要に応じて生育条件に合ったアジサイを補植。花は、適宜ドライフラワーとしてイベントなどでも活用

・温室

子どもが植物に興味を持つ契機の間として、見て楽しめる食虫植物や多肉植物、バナナなどの有用植物を植栽

(2) 花や緑の見どころづくり【児童遊園地】

・花畑では、春のナノハナや秋のコスモスが鑑賞できるよう、計画的な播種や灌水・除草、必要に応じた苗の補植を実施

・梅園では、初春に美しいウメが鑑賞できるよう、夏季・冬季剪定に注力し、林床にスイセン、ヒガンバナを補植し季節の風景を提供

・樹林地では、明るい樹林地を目指して林床の潜在植生の芽出しを促し、季節の景観を提供

### 3 公園施設・設備の修繕計画

(1) 予防保全

照明などの電気、機械設備や遊具などは、定期点検や精密点検を活用し、健全度、劣化状況を把握して修繕の優先度を評価。計画的な修繕により、事故防止や長寿命化に貢献。利用者の安全や公園管理に重大な支障が生じる恐れがある場合は、速やかに実施。指定管理者の負担区分を超えるものは市と協議

(2) 事後保全

ベンチや園路などは、日常巡視・点検などにより異常の有無を確認。異常の発見時は、利用者の安全確保を最優先に修繕を実施。市と連携し、適切なタイミングで修繕・更新

### 4 樹木・植栽等の管理

(1) 自然とふれあえる空間づくり／多様な生き物が暮らす環境づくりの推進

・水辺(池・流れ)は、カワセミやトンボなどの生き物を観察できる場でもあるため、狩場の丘の環境を保全できるよう、セキショウの間引きやオオフサモの駆除などを実施

・樹木は、見通しを確保する場所や民家が隣接する場所は高さや広がりを抑えた剪定を、その他の場所は自然樹形を活かした整枝剪定を実施、利用者に自然とふれあえる空間や木陰を提供

・草地は、広場などは利便性の確保のため低い草丈を維持し、傾斜地では刈高を高めを設定して法面の崩れを防ぐとともに、生き物の生息場所を創出。刈る時期の調整など、野鳥に配慮した草刈りを実施

(2) 生物多様性に配慮した維持管理と森の再生／在来種や絶滅危惧種の保護・繁殖

・児童遊園地に自生するヤマユリの生長にあわせた作業スケジュールを計画し、ヤマユリ等の生育を促すため、芽だしの時期に地面に日差しが差し込むよう冬季に草刈りを実施

- ・自然観察林、既存林では、林床の潜在種であるキンラン、ギンラン、アマドコロなどの生育環境を維持・復元するため、冬は草刈りなどを実施。生育地域の保護に向けて、観察・記録を実施。樹林地内の危険木は伐採し、実生木を計画的に残して明るい雑木林への更新を意図

(3) 植栽全般における共通の取組

- ・病虫害対策は予防的防除を前提とし、薬剤散布を行う場合は、市の指針や関連法規に従って、基本的に休園日や閉園後などに利用者の皆様へ告知のうえ実施
- ・ナラ枯れについて、コナラなどの根元を中心にフラスがないかを特に注視し、ナラ枯れが見られた場合は、市と協議のうえ危険木を伐採
- ・草刈りの工夫として、景観に配慮し、草刈り回数を増やすことで発生材の量を抑制。発生した刈草は、地表に敷き均すことで、日陰を作り、雑草の生育を抑えるとともに、運搬費・処分費を軽減。落ち葉を集積して堆肥化し、樹林の林床や植栽地に還元

## 5 巡視・清掃

(1) 巡視・点検方法

- ・日常巡視を1日2回実施、異常の早期発見及び対処に注力。状況により使用禁止措置を実施。特に、折れ枝、路面の異常、ガラス片などの危険物、排水の詰まり、施設・設備の破損などに注意。マナー違反・危険行為などの目撃時は利用指導を実施
- ・点検は、市公園施設点検マニュアルに基づく施設点検（年4回（通常3回、詳細1回））、施設管理者点検（年1回）、対象遊具の精密点検（年1回）、当団体独自の月例点検（月1回）を実施
- ・梅雨、台風、落葉時期の排水機能の確認、台風、降雪時期の枯枝・枯損木の確認、行楽シーズン前の遊具の安全確保などを特に留意して実施
- ・特別巡視は、気象警報解除後や震度5弱以上の地震発生後、他園での重大事故発生時に実施し、被害状況の確認や応急措置の実施、状況を市に報告

(2) 清掃方法

- ・園路は、落葉期の落葉清掃を重点的に実施。利用者に配慮し、植物園は開園前にブローアー清掃を実施
- ・トイレは、毎日1回を基本とし、利用状況に応じて随時清掃。園内に咲く季節の花を飾り、季節感を演出。汚損や落書きを発見した場合は、迅速に清掃や修復を実施
- ・ベンチ・テーブル・手すりなどの工作物は、汚れなどに特に注意して清掃を実施
- ・台風や積雪後など枝葉の飛散・落下が多い場合や、人出が見込まれる前後などは現場状況に応じて清掃を実施
- ・管理棟及び展示研修棟は、毎日1回清掃し、清潔を維持
- ・温室は、屋根及び壁面のガラスの清掃を年2回実施

(3) その他主な施設の維持管理

- ・管理事務所では、日常点検・定期点検のほかに、施設管理者点検マニュアルに沿った点検を行い（年1回）、不具合が見られた場合は速やかに対応。建物の状態を適宜、市に報告

し、今後の管理・改修・補修計画を提案 ・温室は、保温（加温）装置を整備。圃場は、展示に備えてスイレンや食虫植物などの育苗に活用し、展示用温室にはバナナなどの熱帯植物を展示 ・標本館では、標本を適切に保存するため、年1回の標本の燻蒸、月1回の館内清掃を実施
---

(事業計画書様式5)

無料事業実施計画一覧（自主事業含む）

No	事業名	内容（募集人数等）	新規	実施時期	回数
(1) 植物の魅力発信と好奇心の創出					
1	バックヤード展	普段園内で見ることのできない植物を期間限定で展示し、植物の魅力を紹介	○	通年	随時
2	絵本の読み聞かせと自然遊び	未就学児の親子を対象に、絵本の読み聞かせと自然に親しむ遊びを、わらしべの会などと協働実施		8、12、2月除く	9
3	バラ展	園内のバラ園が見頃を迎える時期に、バラの歴史や利用法などをパネルで紹介		5月	1
4	ヤマアジサイ展	ヤマアジサイの鉢物展示を地域の方と協働で実施		5～6月	1
5	植物標本展	主に横浜をテーマにした植物標本の展示 協力：横浜植物会など		8月	1
6	こども植物園写真展	園内の植物の写真や見どころを紹介する作品展示 協力：写真サークルどんぐりなど		6月	1
7	めでたい植物展	正月に飾られる縁起の良い植物をそのいわれとともに紹介		1月	1
8	園内の見どころ紹介ボード	植物園の正門付近に大型ボードを設置し、開花状況や見どころを発信。児童遊園地との相互利用を促進	○	通年	通年
9	スポット解説	話題の植物や、注目されている植物のトピックをパネルやブログなどで解説	○	通年	随時
10	二次元コード付サインの設置	スマートフォン等で二次元コードを読み込み、利用者がセルフガイドを体験できるサービスを提供		通年	通年
11	こども植物園情報	各種講座やイベントなどを掲載した当団体独自の情報誌。市内の学校や公共施設などに配布		6、9、12、3月	4
12	日本の伝統行事の紹介	日本の伝統行事と植物の深い関わりについて、園内の植物を活用しながら行事と身近な植物を紹介し、後世に伝承		5、7、1、3月	4
13	植物ラベルの設置	展示植物に和名や原産国などの植物ラベルを表示		通年	随時

		して興味を喚起。更新・拡充を実施			
14	企画展スペシャルガイド	バラ展や菊花展などの会期中にスタッフが企画展についてのスペシャルガイドを実施		5、11月	2
15	園内ガイド	季節の見どころや花や緑の特徴をスタッフが解説し、植物の魅力を発信		5、8、11、1月除く	8
16	横浜ばら会写真部写真展	横浜ばら会写真部と協力して、部員が撮影した作品の展示を行い、バラの魅力を発信		2、3月頃	1
17	ボタニカルアート教室作品展	大人向け講座「ボタニカルアート体験教室」の受講者の作品を展示		3月	1
18	さくらそう展	古典園芸植物のサクラソウの品種を伝統的な陳列鑑賞手法である「桜草花壇」で展示		4月	1
19	さつき盆栽展	さつき盆栽の展示 協力：横浜さつき愛好会など		5月頃	1
20	山野草展	初夏の山野で見られる草花の鉢物展示 協力：横浜山草会など		6月頃	1
21	花菖蒲展	系統保存している山形県長井市に伝わる花菖蒲「長井古種」を育成し、展示		6月頃	1
22	柿展	園内の柿コレクションを活用し、柿に関する解説や、色、形、大きさなどの違う実物の柿を展示		10月	1
23	菊花展	大菊、小菊、古典菊、野生菊の鉢物展示 協力：横浜菊花会、小菊盆栽芸術協会長生会など		11月	1
(2) 緑の担い手の育成支援と繋がりを生む拠点の創出					
24	生涯学習のサポート	市民の皆様等を対象に、依頼や要望などにお応えする栽培講座や観察会を実施	○	随時	随時
25	緑の相談所	市民からの質問に対応するため、専門知識を持つスタッフを配置し、都市緑化の普及啓発を推進		通年	通年
26	校外学習のサポート	区内、近隣区の小学校を対象に、「総合的な学習の時間」で活用できる校外学習サポートメニューを提供し、子どもたちへの環境学習を推進	○	随時	随時
27	夏休み特別企画	「昆虫と植物展」「食虫植物展」などを実施		7～8月	2
(3) 豊かな森と生物多様性の保全に向けた取組の推進					
28	森に親しむ行事	森に関する興味喚起や環境学習の機会を提供するため、ウェルカムセンターの利用者を対象とした自然観察会やクラフト教室、展示会などを実施	○	随時	14
広報・プロモーションの取組					
29	植物園等の類似施設との相互広報	都立神代植物公園などと連携し、利用案内やイベント情報などを相互掲出	○	随時	随時

市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成					
30	他植物園等との交流事業	企画展等の相互展示や事業紹介などを実施し、都市緑化の普及啓発や植物園の魅力・取組を周知	○	随時	随時
31	バラ園の魅力向上への取組	はまみらいの普及推進や地元企業であるサカタのタネの新品種などの植栽導入を検討		随時	随時
32	花苗等販売	春祭り、落ち葉感謝祭等で花苗等を販売 連携先：(社福) 開く会フラワーアーク		5、11月	随時
その他					
33	「よこはま緑のまちづくり基金」募金箱設置	市内の緑化推進や環境保護等に寄与する募金活動を実施		通年	通年

有料事業実施計画一覧（自主事業含む）

No	事業名	内容 (募集人数・一人当たりの参加費)	新規	実施 時期	回数	自主事業予算額(円)	
						総経費	収入
(1) 植物の魅力発信と好奇心の創出							
1	大人向け講座	栽培や剪定、文化体験など大人を対象とした講座を実施		通年	22	463,000	549,000
2	こどもの講座 植物クラフト 教室	園内で採取できる木の実や葉を観察後、リースやオブジェなどのオリジナルの飾りを制作 (22組・@1,000円)		8、10 月	2	11,000	22,000
3	春祭り	収穫物や植物の加工品、クラフト、花苗の販売を実施する祭りを開催し、幅広い世代に自然に親しむ機会を創出		5月	1	42,000	100,000
4	落ち葉感謝祭	環境活動支援センター主催の「農と緑のふれあい祭り」と同時開催。植物園の紹介や収穫物販売により地域活性化に貢献		11月	1	42,000	150,000
(2) 緑の担い手の育成支援と繋がりを生む拠点の創出							
5	はまみらいの 育成販売	「はまみらい」の普及を推進するため、展示と、育成・販売数の拡充		随時	随時	215,000	315,000
6	収穫物等の販売	柿やハーブなどの園内収穫物やドライフラワー、園内のバラを撮影したオリジナルポストカードの販売		随時	随時	50,000	50,000
7	親子向け講座 食育体験	タケノコや柿などの自然の恵みを食育で体験する講座を開催 (20組・@1,000円)	○	4、11 月頃	2	10,000	20,000

8	みどりの学校	小学生を対象に様々な植物を育て、観察し、仕組み等を理解することで、人と自然の繋がりを学び、未来の緑の担い手を育成（10人・@5,000）		4～3月	11	40,000	50,000
9	こどもサイエンス講座	自然科学と植物を学び、探求心を高められるような体験講座を開催（20組・@1,000円）		6、3月頃	2	20,000	20,000
10	夏休み特別企画	「エジソンのマダケで点灯実験」や「食虫植物のふしぎ」などを実施（20組・@1,000円）		7、8月	各1	30,000	20,000
	合計					923,000	1,296,000

（事業計画書様式6）

業務の第三者委託一覧

業務名	内容	委託会社	年回数	実施月	備考
児童遊園地トイレ清掃	自由広場屋外トイレ清掃	(特非)横浜市精連	362	通年	—
園地管理	維持管理水準書記載内容の園地管理作業のうちの大規模な作業	横浜市グリーン事業協同組合	通年	通年	—
夜間緊急対応	児童遊園地の夜間緊急時の対応警備	京浜警備保障(株)	随時	通年	—
遊具精密点検	横浜市公園施設点検マニュアルに従い、遊具の精密点検	R7年度に見積合わせ	1	12月	—
空調設備保守点検	冷房暖房運転前2回/年 フィルター清掃2回/年 簡易点検4回/年	日本空調サービス(株)	2 2 4	6、9、 12、3月	—
消防設備点検	機器点検 1回/6か月 総合点検 1回/年	(有)消防設備サービス	2	9、3月	—
園内灯設備保守点検	巡視点検 1回/年 部品交換 随時	光洋電設(株)	1 随時	4～6月 通年	—
自家用電気工作物点検	月次点検 1回/月 年次点検 1回/年	(株)九州電業社	12 1	毎月 2月	—
放送設備保守点検	放送設備の点検	エーブイサービス(株)	1	11月	—
トイレ節水装置点検	児童遊園地自由広場のトイレ小便器水洗装置の節	(株)木村技研	1	未定	—

	水装置点検				
井戸水位測定	測定業務 1回/月	(株)エクス横浜分析センター	12	通年	—
標本館清掃	維持管理水準書記載の特別清掃	R7年度に見積合わせ	12	毎月	—
機械警備	事務所棟夜間防犯の機械警備	オールジャパンサービス(株)	通年	通年	—
バラ園除草	バラ開花期前の除草	R7年度に見積合わせ	2	4、10月	—
標本館燻蒸	標本館内収蔵標本の燻蒸	関東港業(株)	1	4月	—
スズメバチ巣駆除	スズメバチの巣の安全な除去とその処分	R7年度に見積合わせ	随時	随時	—
一般廃棄物収集運搬処分	一般廃棄物収集・運搬・処分	(有)大興資源	随時	通年	—
産業廃棄物収集運搬処分	産業廃棄物収集・運搬・処分	(株)滝田商会	随時	通年	—
水銀使用産業廃棄物収集運搬処分	水銀使用産業廃棄物収集・運搬・処分	(株)滝田商会	1	未定	—
年末年始巡回警備	年末・年始の巡回警備	R7年度に見積合わせ	1	1、12月	—
自動ドア保守点検	植物園事務所、展示研修館の自動ドアの保守点検	寺岡オート・ドアシステム(株)	3	6、12、2月	—
音声ガイドシステム	ガイドシステムのサーバー管理	(株)アボックス社	1	4月	—
運搬車点検	園内で使用する運搬車両の年次点検	(株)三恵商会	1	4月	—
展示用菊鉢運搬	菊花展時の展示用菊鉢の運搬	日本通運(株)	1	11月	—
リーフレット原稿修正	リーフレット版下原稿の修正	個人名のため記載せず	1	未定	—
こども植物園トイレ清掃	展示・研修棟、屋外トイレ清掃	(株)エンドウ	52	4～9月	—

こども植物園・児童遊園地 令和7年度 事業計画書

(事業計画書様式7)

収支予算書(指定管理事業のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	106,932,000	0	106,932,000	0	106,932,000	
利用料金収入	0	0	0	0	0	
自主事業収入	1,296,000	0	1,296,000	0	1,296,000	
横浜市による運営支援	4,056,181	0	4,056,181	0	4,056,181	横浜市による物価高騰に伴う指定管理施設運営支援
雑入	0	0	0	0	0	
その他雑入	0	0	0	0	0	
収入合計 (a)	112,284,181	0	112,284,181	0	112,284,181	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	61,947,000	0	61,947,000	0	61,947,000	
給与・賃金	50,352,000	0	50,352,000	0	50,352,000	
社会保険料	8,011,000	0	8,011,000	0	8,011,000	
通勤手当	3,413,000	0	3,413,000	0	3,413,000	
福利厚生費	171,000	0	171,000	0	171,000	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
事務費	5,328,000	0	5,328,000	0	5,328,000	
旅費	191,000	0	191,000	0	191,000	
消耗品費	1,401,000	0	1,401,000	0	1,401,000	
会議賄い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	672,000	0	672,000	0	672,000	
通信運搬費	850,000	0	850,000	0	850,000	
使用料及び賃借料	52,000	0	52,000	0	52,000	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0	
(その他)	52,000	0	52,000	0	52,000	
備品購入費	930,000	0	930,000	0	930,000	
保険料	54,000	0	54,000	0	54,000	
振込手数料	2,000	0	2,000	0	2,000	
リース料	614,000	0	614,000	0	614,000	
手数料	0	0	0	0	0	
その他事務費	562,000	0	562,000	0	562,000	
自主事業費	1,502,000	0	1,502,000	0	1,502,000	
管理費	26,005,000	0	26,005,000	0	26,005,000	
光熱水費合計	5,078,000	0	5,078,000	0	5,078,000	
光熱水費(電気)	4,248,000	0	4,248,000	0	4,248,000	
光熱水費(ガス)	29,000	0	29,000	0	29,000	
光熱水費(水道)	461,000	0	461,000	0	461,000	
光熱水費(下水道)	340,000	0	340,000	0	340,000	
清掃費	2,399,000	0	2,399,000	0	2,399,000	
修繕費	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000	
機械警備費	436,000	0	436,000	0	436,000	
公園及び公園施設設備保全費	15,092,000	0	15,092,000	0	15,092,000	
施設(建物)・設備保守	1,428,000	0	1,428,000	0	1,428,000	
園地管理費	10,337,000	0	10,337,000	0	10,337,000	
その他保全費	3,327,000	0	3,327,000	0	3,327,000	
公租公課	5,977,000	0	5,977,000	0	5,977,000	
公租公課(事業所税)	0	0	0	0	0	
公租公課(消費税)	5,976,000	0	5,976,000	0	5,976,000	
その他公租公課	1,000	0	1,000	0	1,000	
事務経費(本部分)	5,220,000	0	5,220,000	0	5,220,000	
雑費	6,305,181	0	6,305,181	0	6,305,181	
支出合計 (b)	112,284,181	0	112,284,181	0	112,284,181	
差引 (a-b)	0	0	0	0	0	

(参考) 指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計 (c)	14,320,000	0	14,320,000	0	14,320,000	
設置管理許可支出合計 (d)	12,127,000	0	12,127,000	0	12,127,000	
差引 (c-d)	2,193,000	0	2,193,000	0	2,193,000	

今年度の収支計画  
自主事業収入 800 千円以上



(事業計画書様式8)

運営目標

項 目	取組み内容及び具体的な数値目標
業務運営1 (様式2:運営業務の実施計画・取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートの実施1回</li> <li>・満足度結果70%以上</li> </ul>
業務運営2 (様式2:管理運営体制、人員の配置と研修計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画した人員の配置</li> <li>・研修・講習の実施                         <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者対応・サービスに関する研修4件以上</li> <li>園地管理作業に関する研修3件以上</li> <li>マネジメントに関する研修6件以上</li> </ul> </li> </ul>
業務運営3 (様式3:利用者サービスの向上・利用促進策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の魅力発信と好奇心の創出に関する取組 27件</li> <li>・緑の担い手の育成支援と繋がりを生む拠点の創出に関する取組 9件</li> <li>・豊かな森と生物多様性の保全に向けた取組 1件</li> </ul>
業務運営4 (様式3:広報・プロモーションの取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物園、児童遊園地のブログの更新 計72回</li> <li>・こども植物園だより 年3回</li> <li>・こども植物園情報 年4回</li> <li>・3区の広報よこはまへの掲載 年36回</li> <li>・植物園等の類似施設との相互広報 随時</li> </ul>
業務運営5 (様式3:市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他植物園等との交流事業の実施 随時</li> <li>・地域の団体などとの協働 6件</li> <li>・ボランティアとの協働 5件80回</li> <li>・障害者の自立支援の取組への協力 2件</li> </ul>
業務運営6 (様式3:地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや親子連れを対象とした各種教室や講座の開催 8件</li> <li>・在来種や絶滅危惧種の保護・繁殖の取組 随時</li> <li>・市内中小企業への優先発注 随時</li> </ul>
業務運営7 (様式3:本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「GREEN×EXPO 2027」応援花壇の維持・管理 1か所</li> <li>・再エネ100%電力やグリーン電力の導入</li> </ul>
業務運営8 (様式4:公園の魅力を高める施設保全・管理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアごとの魅力あふれる花と緑の場の提供</li> <li>・生物多様性を意識した維持管理「いきものサンクチュアリ」の推進</li> </ul>
業務運営9 (様式4:施設(建物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市公園施設点検マニュアルに基づく施設点検の実施(年4回)</li> <li>・施設管理者点検(年1回)、対象遊具の精密点検(年1回)、当</li> </ul>

等)、設備の維持管理、修繕計画)	団体独自の月例点検(月1回)の実施
業務運営 10 (様式4:樹木、植栽等の管理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生き物が暮らす環境づくりの推進 1件</li> <li>・生物多様性に配慮した維持管理と森の再生 1件</li> <li>・枯損木、危険木の伐採 10本以上</li> </ul>
業務運営 11 (様式4:巡視・清掃)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡視・清掃 毎日(年末年始を除く)</li> <li>・坂の多いこども植物園主園路の落葉清掃 落葉期毎日実施</li> <li>・標本館の標本の燻蒸(年1回)の実施</li> </ul>
収支 (様式7:収入確保、経費節減策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業収入 800千円以上</li> </ul>